

手話学習について

1 概要

「手話は言語である」という認識に基づき、手話の理解と普及に関する基本的なことを定めた渋川市手話言語条例を平成29年4月1日に制定しました。渋川市手話言語条例第9条第2項に基づき、学校において児童、生徒及び教職員に対して手話を学ぶ機会を提供するため、平成30年度から市内の小中学校23校（小学校14校、中学校9校）を対象に手話講師を派遣し、出前手話教室を開催しています。講師は市内在住の聴覚障害者及び群馬県認定手話通訳者で各教室につき2名の講師を派遣しています。学齢期に手話に触れることにより、障害者理解や手話言語の普及、啓発が行われ、全ての人が暮らしやすい共生社会実現につながると考えております。

2 授業例（2時間続きの場合）

1 時 間 目	講義	聴覚障害について 1 聴覚障害とはどんな障害なのか考えてみましょう 2 聴覚に障害がある人の暮らしについて考えてみましょう ・生活の中でどんな困ることがあるかな？ ・聴覚に障害がある人とのコミュニケーション方法 ・生活で使う便利な道具
2 時 間 目	実技	手話を覚えてみましょう 1 挨拶など基本的な単語 おはよう、こんにちは、こんばんは、ありがとう、 ごめんなさい、大丈夫？ 2 自己紹介（〇〇です。〇〇小/中学校の〇年生です。） 3 教科、部活動など質問に応じて指導

3 開催状況

- (1) 令和2年度
新型コロナウイルス感染拡大防止のため講師派遣を中止
- (2) 令和3年度
小学校13校 中学校2校 計15校で実施
- (3) 令和4年度
小学校11校 中学校3校 計14校で実施
- (4) 令和5年度
小学校13校 中学校5校 計18校で実施予定

4 児童・生徒の感想（一部抜粋）

- ・手話教室を受けてみて、聴覚に障害がある人の不便さや大変さがわかりました。でも、辛いことばかりではなくて楽しく生活ができているということもわかりました。手話は難しかったけど、自分の言いたいことが伝わったときはとても嬉しかったです。もっと手話の勉強をしてみたいと思いました。
- ・手話教室を受けた後、言われたとおりに自宅でテレビの音量をゼロにして見てみたら、何を言っているかわからなくて、聴覚に障害のある人は毎日がこういう生活なんだなと感じました。でも、字幕をつけたら話の内容がわかりました。困っている人がいたら、筆談や身振りなど自分ができる方法で力になりたいと思いました。

5 事後学習用手話学習教材の配布

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止措置として手話講師の派遣を中止し、各学校で自主学習を行えるよう、手話学習テキスト及び手話学習動画の作成を行いました。現在は、事後学習用として出前手話教室終了時に手話学習テキストを配布し、活用いただいております。手話学習教材は、各学校に配布するとともに、市ホームページでの公開及び市公式 YouTube チャンネルでの配信も行っております。市独自の手話学習教材の作成を行っているのは県内で渋川市のみです。

6 その他の手話学習にかかる取り組み（令和4年度実績）

(1) 手話教室開催事業

一般市民向け手話教室

小学4年生～6年生対象	全2回	11人参加
託児付き	1回	7人参加
18歳以上対象	1回	11人参加

※医療機関従事者向け手話教室、観光業従事者向け手話教室は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み開催中止

(2) 手話奉仕員養成講座事業

入門課程	全23回	7名受講
基礎課程	全26回	9名受講
フォローアップ課程	全5回	5名受講

(3) 手話あそび体験事業(こども支援課)

市内の保育所、幼稚園、認定こども園計20園を対象に1教室30分の手話あそび体験事業を実施

手話あそび
体験

出前
手話教室

手話
教室

手話奉仕員
養成講座

7 今後について

聴覚に障害のある方にとっては、日常生活におけるコミュニケーション手段として手話はなくてはならないものです。医療機関への受診、金融機関での手続き、教育場面など、多くの場面で手話通訳を利用しています。現代において手話＝障害福祉という意味合いで捉えられがちですが、手話学習は、渋川市手話言語条例が掲げる「手話は言語である」という認識に基づき、福祉の「障害」から、「生涯」に読み替えて、外国語と同様に言語として「生涯」にわたり学習できるものだと考えます。

2024年には群馬県で全国ろうあ者体育大会の開催が予定され、渋川市も一部会場となる見込みです。また、2025年にはデフリンピックが日本で開催され世界各国から10万人近くの聴覚障害者とその関係者が日本を訪れる事が予想されています。渋川市は全日本ろうあ連盟発祥の地である伊香保を有しているため、建立された記念碑を見学に来る方も多くいらっしゃることでしょう。共生社会実現のまち渋川市として、市民に限らず、渋川市を訪れた全ての人々が自身の言葉で思いを伝え合える街になるよう、今後も手話に対するさらなる理解の促進と普及・啓発に努めてまいります。

【参考】

- ・渋川市 小中学校向け手話学習テキスト
～手話で思いが伝わったまちに～
- ・渋川市 手話学習DVD 21分（全編字幕入り）

【URL】 <https://www.city.shibukawa.lg.jp/kosodate/kyouiku/gakkoukyouiku/p008153.html>